

礫 陵 新 聞

発行所 部 新 聞 部
松 高 校 新 区 小 石
北 九 州 市 若 松 区 編 集 部
若 松 高 校 新 聞 部
若 松 印 刷 所
高 塔 印 刷 局 2987

あなたが作る 生徒会に!

執行部の役員改選が行なわれ数ヶ月たった現在。しかし以前として生徒会活動の陰は薄い。また、その改革は並たいていものではないかもしれない。それ故、今回の特集が、生徒の認識を深め、改革の足がかりとなってくれば、幸いである。

現在我が校では、「たまたま」でない「生徒会」という意見がよく出される。そこで、生徒会の活動状況やこれからの方針を、その幹部である執行部の各役員に、インタビューしてみた。

まず会長藤井君からは、今後の方針として、現在の代議員会をもっと充実させ、まだ運営されていない各種委員会なども定期的に開いて、生徒会から生徒へはたらきかけたいということだ。また自分自身、生徒会の一員である自覚をもっと深めたいという。これからの予定行事として、二期期には若高創立六十周年記念行事を、体育祭・文化祭等と同時に計画している。また書記岡田君は、生徒会の真髄を追求したいという。生徒会とは執行部そのものではなく、生徒一人一人のものである。生徒会としての執行部ではないかと問う。やはり生徒と生徒会の一体化に努力したいと

いう。一年生会計の福沢君は、執行部の諸先輩に負けないように、後悔しない仕事をしたいということだ。その方針として、生徒中心の生徒会にするためにがんばりたいという。副会長の立石君は、新聞部の依頼に対して、率直に答えてくれた。ただ一行、「若高のために頑張ります」と。執行部の意見を全体的にまとめてみると、生徒会とは生徒自身のものなものである。現在、生徒会とは執行部そのものであると考えると、各役員は言っていないかと、各役員は言っていた。確かに、今回の生徒へのアンケートからも、生徒会に対する無関心を面や、生徒会、特に執行部の活動にたよりすぎているような回答もあった。今こそ我々は、「生徒会とは何か」ということについて深く追求し、自分自身の問題として再認識してみよう。

生徒会! それは私たちが何と何なのだろうか。新執行部に変わってはいや三ヶ月。その活動の状況を見ても、生徒それぞれ、個々の考えや要望・不満などがあることだろう。今回は、特集として、現在存在だと思われがちな生徒会についてアンケートをとってみた。その結果は、

Q1 生徒会は、今、どんな活動をしているか。
Q2 現在の選挙法についてどう思うか。
Q3 なぜあなたは立候補しなかったか。
Q4 あなたにとって生徒会とは何か。
Q5 どうして生徒会が存続する必要があるか。
Q6 生徒会が存続するべき理由を述べよ。
Q7 生徒会が存続するべき理由を述べよ。
Q8 生徒会に協力しているか。

Q1 生徒会は、今、どんな活動をしているか。
活動状況がわからない。効果が見えない。改善すべきだ。
積極性が足りない。
有名無実。

Q2 現在の選挙法についてどう思うか。
この質問に対しては、Q1と同じく、真剣さが足りない。密着した生徒会にするために自ら進んでやりたいという人がでてきてほしい。

Q3 なぜあなたは立候補しなかったか。
自分の力で現状を改善したい。自信がない。消極的な傾向にある。無関心。生徒会にたいしては、無関心。生徒会にたいしては、無関心。生徒会にたいしては、無関心。

Q4 あなたにとって生徒会とは何か。
空気のようなもの。ただ、在る、というだけ。有名無実。

Q5 どうして生徒会が存続する必要があるか。
生徒の自主性・自律心を養うため。何事も先生だけにまかせられない。学校の象徴である。ないはずかしい。意義を知っている反面、軽率な考えを持っている。

Q6 生徒会が存続するべき理由を述べよ。
Q6 生徒会が存続するべき理由を述べよ。答が大半であった。しかし、

Q7 生徒会が存続するべき理由を述べよ。
Q7 生徒会が存続するべき理由を述べよ。強制的にならされた役割

Q8 生徒会に協力しているか。
協力している。協力していない。協力しない。

Q9 あなたは、生徒会に協力していますか。
協力している。協力していない。協力しない。

Q10 あなたは、生徒会に協力していますか。
協力している。協力していない。協力しない。

Q11 あなたは、生徒会に協力していますか。
協力している。協力していない。協力しない。

Q12 あなたは、生徒会に協力していますか。
協力している。協力していない。協力しない。

Q13 あなたは、生徒会に協力していますか。
協力している。協力していない。協力しない。

Q14 あなたは、生徒会に協力していますか。
協力している。協力していない。協力しない。

Q15 あなたは、生徒会に協力していますか。
協力している。協力していない。協力しない。

Josho

勇気、これは現代の若者に欠けているもの。のひとつではないだろうか。もちろん若高生についても言えることだ。その勇気について触れてみたいと思う。勇気とは、辞書によると「普通の人があるや恐れを感じてしようとする意欲を積極的にしようという気力」ということである。しかし、勇気について錯覚している人があまりにも多いようだ。例えば、我々は、授業ポイント、日常茶飯事となっている飲酒喫煙を、勇気がいる行為だとか、自分は、勇気がないからあいつは事ではできない、という言葉を耳にする。また、ポイントをした者、たばこを吸った者の態度

を考えると、彼らもまた、自分のしたことは勇気なしではできないことだ、とも思っているのか、校則違反者であるにもかかわらず堂々としている。が、これは絶対に勇気ではない。責任のとれない行為、時間の浪費にすぎない。こんな行為を勇気というべきではないのだ。それを考えて欲しい。彼らもまた、自分のしたことは勇気なしではできないことだ、とも思っているのか、校則違反者であるにもかかわらず堂々としている。が、これは絶対に勇気ではない。責任のとれない行為、時間の浪費にすぎない。こんな行為を勇気というべきではないのだ。それを

があまりにも多いのは、大きな問題点である。人間は、ことばを使って自分の意志を他人に伝える。ことばなしには、我々の生活はあり得ない。同様に、生徒会についても同じことが言えるのではないだろうか。生徒会は、我々の意志で動かすべきものであるが、意見交換の場ではない。

分の意見を出さない人がほとんどである。だからそこには、自分の意見もなければ他人の意見もない。そして、身近な所にあるべきは、生徒会も雲の上の存在となり、自分の意見を述べよう、と自然にできなければならぬことを、自らも抵抗があり、勇気が必要になって

く。そうなる生徒同志の連帯感も薄いものとなってしまおう。そして、そこから無関心・無責任・無感動が生じてくるのではないだろうか。勇気をもつことによつてそうなることが防げるなら、その努力すべきである。若高はまだ、三無主義に染まりきっていない。生徒会の問題も、喫煙の問題も、我々若高生自身の問題である。先方に頼りすぎている現状から脱皮して、我々自身の手で解決しようという意気込みが、そこに若い我々の高校生活があるかもしれない。

高校生が学校で費やす時間は、我々の一生にとって、とても大きく、重要な時間である。だからこそ我々は勇気をもって、悔なく充実させて、この時間を費やしたいものである。

それは、校風の乱れについて、徹底的に改善すべきだ。という風に、やはりこの態度を何とかしようと思う反面、「はずかしい」「実力を持っていない」「勉強やクラブで忙しい」などの理由で、真の自分の使命から逃避しているのが現状

ではないだろうか。生徒会とは根本的に、先生による先生のための生徒会、ではなく、生徒の生徒会である。生徒の生徒会である。生徒の生徒会である。生徒の生徒会である。

私たちが、学生である以上勉強、またスポーツに従事することも大切であるが、そのエネルギーを学校の為、皆々の為に使わずとも意義があるだろうか。自分自身も苦しい時は、皆も苦しんでいる。現在のこの消極的な行動では、何もかも生かされていない。何の道が見えていないのか。この消極的な行動は、自分さえよければいい。他人の事などどうでもいいというエゴが少なからず含まれている。今必要なのは、エゴをなくすることだ。今や生徒会はその手の中を覗いている。今からでも遅くはない。全生徒が手を結び、この現状に真正面から立ち向かう。若高生よ。

「高校生」若波新書「現代高校生としての感じ、気持ちはどうですか」という高校生入学時の感想に対して「満足である五・九%まあまあである四六・五%つまらない二四・五%たいへん失望している一五・四%という結果を示している。▲かように半数近くの新生が、当初から、さまざまな疑惑と不安と迷いに包まれていることは、きわめて深刻な問題である。現代はめこめられていく高校生たちの苦悶は大きい。それは、無気力・無関心・無責任・無責任等々という、皆無主義に端的に表われているといえよう。▲日常的な生活(皆無主義)の洪水氾濫の中に、解体的な自分たちの姿に對して、「一つの解答がほしい」という気持ちの潜んでいることは事実である。実生活のむごたらしいほどのせわがらさは、いつまでも高校生が皆無主義に生きることと許してはいないからである。▲一つの解答を求めること(おとなになること)は、紛れもなく一つの生を選ぶということである。しかも、どの道が自分の道なのかは容易に見えないのである。気力・感動・関心・責任等々を持つて人はそれぞれ生をありさまを思案し、探求するのでなければ、自分の道が見えないばかりでなく、それを豊かに切り開いていくことも可能でないし、人生の意義を説く喜びも決して生じないだろう。▲高校生一人一人の、人間のかげがえの認識を、深めていく姿こそが、おとなの領域に足を踏み入れる姿でなければならぬ。みずみずしい感受性をもって生き生きと未知の世界に立ち向かうことが大事だ。(T・M)

勇気ある行動を

分の意見を出さない人がほとんどである。だからそこには、自分の意見もなければ他人の意見もない。そして、身近な所にあるべきは、生徒会も雲の上の存在となり、自分の意見を述べよう、と自然にできなければならぬことを、自らも抵抗があり、勇気が必要になって

く。そうなる生徒同志の連帯感も薄いものとなってしまおう。そして、そこから無関心・無責任・無感動が生じてくるのではないだろうか。勇気をもつことによつてそうなることが防げるなら、その努力すべきである。若高はまだ、三無主義に染まりきっていない。生徒会の問題も、喫煙の問題も、我々若高生自身の問題である。先方に頼りすぎている現状から脱皮して、我々自身の手で解決しようという意気込みが、そこに若い我々の高校生活があるかもしれない。

高校生が学校で費やす時間は、我々の一生にとって、とても大きく、重要な時間である。だからこそ我々は勇気をもって、悔なく充実させて、この時間を費やしたいものである。

それは、校風の乱れについて、徹底的に改善すべきだ。という風に、やはりこの態度を何とかしようと思う反面、「はずかしい」「実力を持っていない」「勉強やクラブで忙しい」などの理由で、真の自分の使命から逃避しているのが現状

ではないだろうか。生徒会とは根本的に、先生による先生のための生徒会、ではなく、生徒の生徒会である。生徒の生徒会である。生徒の生徒会である。生徒の生徒会である。

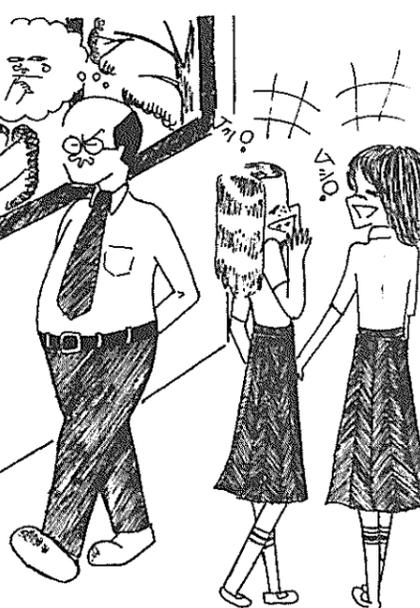
私たちが、学生である以上勉強、またスポーツに従事することも大切であるが、そのエネルギーを学校の為、皆々の為に使わずとも意義があるだろうか。自分自身も苦しい時は、皆も苦しんでいる。現在のこの消極的な行動では、何もかも生かされていない。何の道が見えていないのか。この消極的な行動は、自分さえよければいい。他人の事などどうでもいいというエゴが少なからず含まれている。今必要なのは、エゴをなくすることだ。今や生徒会はその手の中を覗いている。今からでも遅くはない。全生徒が手を結び、この現状に真正面から立ち向かう。若高生よ。

「高校生」若波新書「現代高校生としての感じ、気持ちはどうですか」という高校生入学時の感想に対して「満足である五・九%まあまあである四六・五%つまらない二四・五%たいへん失望している一五・四%という結果を示している。▲かように半数近くの新生が、当初から、さまざまな疑惑と不安と迷いに包まれていることは、きわめて深刻な問題である。現代はめこめられていく高校生たちの苦悶は大きい。それは、無気力・無関心・無責任・無責任等々という、皆無主義に端的に表われているといえよう。▲日常的な生活(皆無主義)の洪水氾濫の中に、解体的な自分たちの姿に對して、「一つの解答がほしい」という気持ちの潜んでいることは事実である。実生活のむごたらしいほどのせわがらさは、いつまでも高校生が皆無主義に生きることと許してはいないからである。▲一つの解答を求めること(おとなになること)は、紛れもなく一つの生を選ぶということである。しかも、どの道が自分の道なのかは容易に見えないのである。気力・感動・関心・責任等々を持つて人はそれぞれ生をありさまを思案し、探求するのでなければ、自分の道が見えないばかりでなく、それを豊かに切り開いていくことも可能でないし、人生の意義を説く喜びも決して生じないだろう。▲高校生一人一人の、人間のかげがえの認識を、深めていく姿こそが、おとなの領域に足を踏み入れる姿でなければならぬ。みずみずしい感受性をもって生き生きと未知の世界に立ち向かうことが大事だ。(T・M)

あなたにとって 生徒会とは

徹底すべきだ。という意見が最も多く活動状況を公表すべきだという意見が多かった。又、現在の活動状況に大半の人が不満を抱いている。Q2現在の選挙法についてどう思うか。この質問に対しては、Q1と同じく、真剣さが足りない。密着した生徒会にするために自ら進んでやりたいという人がでてきてほしい。

若高感評



「高校生」若波新書「現代高校生としての感じ、気持ちはどうですか」という高校生入学時の感想に対して「満足である五・九%まあまあである四六・五%つまらない二四・五%たいへん失望している一五・四%という結果を示している。▲かように半数近くの新生が、当初から、さまざまな疑惑と不安と迷いに包まれていることは、きわめて深刻な問題である。現代はめこめられていく高校生たちの苦悶は大きい。それは、無気力・無関心・無責任・無責任等々という、皆無主義に端的に表われているといえよう。▲日常的な生活(皆無主義)の洪水氾濫の中に、解体的な自分たちの姿に對して、「一つの解答がほしい」という気持ちの潜んでいることは事実である。実生活のむごたらしいほどのせわがらさは、いつまでも高校生が皆無主義に生きることと許してはいないからである。▲一つの解答を求めること(おとなになること)は、紛れもなく一つの生を選ぶということである。しかも、どの道が自分の道なのかは容易に見えないのである。気力・感動・関心・責任等々を持つて人はそれぞれ生をありさまを思案し、探求するのでなければ、自分の道が見えないばかりでなく、それを豊かに切り開いていくことも可能でないし、人生の意義を説く喜びも決して生じないだろう。▲高校生一人一人の、人間のかげがえの認識を、深めていく姿こそが、おとなの領域に足を踏み入れる姿でなければならぬ。みずみずしい感受性をもって生き生きと未知の世界に立ち向かうことが大事だ。(T・M)

心からの応援を

若さと若さのぶつけあい、そこには、勝負を越えた尊いなががある。
 今の若い大切な時期を、精一杯スポーツに打ちこみ、汗と涙にまみれてがんばる若者がいる。彼らのために、心から応援しようではないか。

いよいよスポーツのシーズンとなったが、ここで、体育部の試合での応援現況を述べてみよう。
 まず、ほとんどの体育部に共通して言えることだが、応援に力を入れている生徒が非常に少ないという現状だ。
 理由としては、スポーツに無関心。また、試合日程や場所がわからない。遠征試合の時などは、場所が遠いのでいけないなどさまざまである。

体育部長は、毎日、汗を流しながら懸命に練習をし、日頃の成果を発揮できる他校との試合に命をかけるくらいに、心から応援しようではないか。



若高 フレーフレー

「ひとりよがりな小さな手、何もできないけれど、それでもみんなの手と手が集まれば、何かできる」

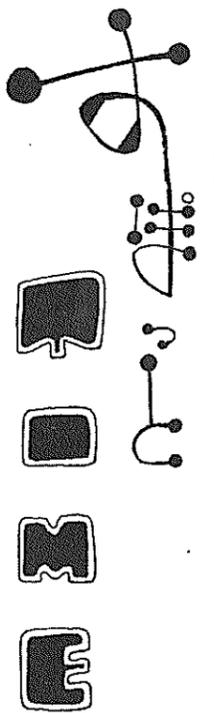
盛り返るのではないだろうか。だが、しかしその試合に前にも述べたように、試合日程や場所がわからないという状況が、この解決策として体育部長が、試合前日に執行部を通じて全校生徒に報道してもらったり、また、若高になつた応援団を結成し、その人達を中心に応援するという方法も検討されている。夏になると各体育部の試合も多くなっていく。体育部長は汗を流して一杯がんばっている。そんな彼らに対して心から応援しようではないか。

映画紹介

★インフェルノ★

この映画は二時間四十五分の長大作で、パニック映画集まれば、何かできる

「ひとりの小さな手、何もできないけれど、それでもみんなの手と手が集まれば、何かできる」



画中の最大の傑作といわれる。それは、現代の悪夢をあらゆる映画のテクニクを駆使して最大に盛り上げ、しかもひととして手を抜かず、最後まで映画づくりにして配慮がゆき届いている点にある。そしてこれは燃え移った火に焼け死んだり、ビルから身を投げた人がリアルに描かれていること、また、人命救助がほとんど不可能と思われる大規模の真只中を最後まで消防隊員と設計技師があらゆる人間の努力を傾けて闘うところをますますと深く描いてみせることなどで、深い印象を与え、強い緊張感を呼ぶ。

★チャップリンの

喜劇の王様チャップリンがあらゆるコメディアンとも云うべき「道化」の世界にいたんだ作品。



（本の紹介）

★青春抄★
 著者：池田大作
 幼年時代から、苦境の中で常に自己に挑戦しつつ、何事にも真剣をこめて人生を歩んできた著者が、若者たちのためにできることは、人類の未来を切り開く力と自信と、人間原点の指標を彼らの胸中に宿すことであると、信念にも似た思いで対話した、といわれる一冊である。青春時代を有意義に生きる、何かの支えにしてほしい。

先生宅訪問

去る六月二十一日(土)、我々新聞部員五名は、どしゃ降りの中、今年二月御結婚された、柴田先生のお宅を訪問した。
 質問にとりかかった。
 御出身地と、御出身校は？
 福岡市で、多摩美術大学。
 先生の癖は？
 唇を噛む、食事中椅子の上であぐらをかくことかな。(大笑い)
 先生の御趣味は？
 山登り。(奥様と御一語に登られるそうです。)

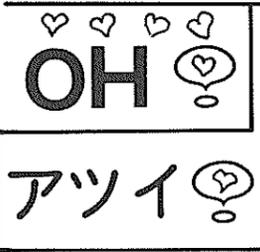
風景画ですか？
 いや、人物画。(モデルは、奥様のいよよさん。)

美術を、好きになつたきっかけは？
 小学校の時にね、染があつてね、一人で入つてその先生に、可愛がられてね。それ以来だね、好きになつたのよ。

時は、全然やらないね。
 将来、どんな絵を、お描きになるつもりですか？
 そうだね。自分を押し出すような強い絵を、描きたいね。
 「ピカソ」が好きで、本気で描きたい。うん。好きだよ。古い形にこだわらない所がいいね。(と、しばらく熱のこもった、ピカソの話をされた。)

「生きがいを感じる時は、いつですか？」
 やっぱ、絵を描いている時だね。
 高校のころか？(ハイ) そうだね、孤立した感じをするのは、イヤだね。陰険な感じ、お互いを無くしたりするから、だから、もつと周囲と調子して、開けっぴろげな交際をして欲しい。
 今の若高生について？
 美術を好きな人が多いよ。以外に。

新婚ホヤホヤ



美術科担当 ● 柴田先生の巻 ●

「好きな言葉は？」
 事に於て後悔せず。(宮本武蔵)
 「日曜日は何をして過ごしていらつしやいますか？」
 うーん。そうだね。博多の方によく絵を書きに行くね。

「先生にいられて、一番うれしかった事は？」
 絵を教える事が出来た事だね。うん、よく出るよ。(と、奥様の方を見ていた。)

「先生にいられて、一番うれしかった事は？」
 絵を教える事が出来た事だね。うん、よく出るよ。(と、奥様の方を見ていた。)

「先生にいられて、一番うれしかった事は？」
 絵を教える事が出来た事だね。うん、よく出るよ。(と、奥様の方を見ていた。)

「先生にいられて、一番うれしかった事は？」
 絵を教える事が出来た事だね。うん、よく出るよ。(と、奥様の方を見ていた。)

編集後記

磯崎新聞の編集にあたり一年生の私たちにとっては初めての事だったので、いろいろと、とまどいがありました。でも先輩の二年生と協力しながら一生懸命作業しました。みなさん、いかがでしたか。
 今回は、四コママンガなど楽しいものをいれたり、生徒会への関心を深めるためにアンケートをとったりして思考を促しました。これから、待ち遠しいと思われよう内容を書けるように努力したいと思っておりますので、みなさんも読んで下さい。

新刊・参考書・雑誌のことなら
石松書店
 若松区本町二丁目10-9 TEL. 761-2415

写真なら
銀影
 ロータリー横
 TEL. 761-4786

教科書、参考書、新刊書籍、雑誌
 謡曲本、トランプ
文ちゃん書店(本店)へ
 若松区本町2丁目9-13 TEL. 761-3917